

日曜日には TVを消せ

No.10

* 1977.5.15(日)

* TVなんて知らないよ

* 製作 PHC-TV(新宿-足柄)

神奈川県足柄上郡大井町金手1099

④ 258 地田博明 YOTA
TEL. 0465-82-4466

* No.9で終るのは何だか不吉だ、とマーラーは考えて第8シンフォニーの次のシンフォニーを「大地の歌」と名付けたが、結局10番目のシンフォニーを第9シンフォニーと名付けねばならなかった。そうしたマーラーは死んでしまった。ショスタコービチも第9シンフォニーまでだったし、マーラーに予感を与えた当のベートーベンも第9で終了。従ってこの「日曜日にはTVを消せ」もNo.9で終わらせずに第10までもっていければハッピーエンドか、はたまたく終りなき旅路か。そこでNo.10作製となったわけ……実はそんなことはナインです。だいいちモツアルトは49のシンフォニーを、ハイドンに至っては104のシンフォニーがあるんですから。

No.9 PART IIを作っているうちに分量がどんどん増えて、とても1冊では、とじきれそうになくなつたので、内容を考えて分けた、その片方が、このNo.10。佐々木昭一郎作品他、TVあれこれ、雑篇。スラッシュ。

* サローヤン『人間喜劇』が最近、もともと感動した本です(晶文社。小島信夫訳)。

カート・ヴォネガット・ジュニアの諸作品と共に絶望と希望があります。私はこの物語を愛します。

►ミセス・マコーレイの言葉

どんなにすばらしい御馴染がテーブルの上にならんでも、そんなことはどうだっていいことだものね。どんなことでも、すばらしくなるのは、それを信じるからで、一ものそのものが、すばらしいわけじゃないんだよ。

►ヒックス先生の言葉

この世の人は、みんな、ほかの人たちよりは、立派なのです。

►ホーマーの言葉

ぼくは、人は大きくなったら泣かないもんだと考えていたけど、ほんとうは大きくなつてから泣くんじゃないかな。だって、大きくなつて

はじめで、いろんなことが分りださんだもの。

* 傷品で30円のインスタントラーメンを食べながら思った。インスタントラーメンが流行したのは小学校から中学校へ移る頃だった(1962・3年)。最初の頃、教室へインスタントラーメンを弁当代りに持ってくる友人は、まぶしく見えた。(街)の文化を感じた。が、やがて、誰も口にするようになった。

現在、ラーメンの袋には「野菜等を加えますと一層おいしく召されます」というように書いてある。最初の頃は、野菜のことなど書いてなかつたようである。ただ、「井に入れ、お湯を注いでフタをして待つ」ということだけだった。必要かつ最小の方法が記してあった。そのうち、「鍋で煮る」方法が併記され、やがては、「鍋で煮る」方法が単記されるようになり、「野菜」も加わるようになった。「お湯を注いで待つ」ラーメンの方は、具の入った高価な品になってしまったし、それらは、カップヌードルの変型である。変化するものだな。

かつ、ヌードルの自動販売機が大学生協の食堂に登場した時に、さっそく100円玉を入れ、機械に備わった湯を入れて食べてみたが、あまりのまずさに半分も食べることができなかつた。こんな欠陥食品を生協が認めるなんてけしからんなどと憤慨した。いま思ふと、お湯がぬるかったのかもしれない。改良しているのか、いまの商品はますますの味だ。

その後

* 手紙を省略させていただきます。返事の心配なども、なさらないで下さい。読者の御多幸をお祈り致します。(1977.5.22. YOTA)

生者と死者とを問わず、すべての人びとの存在はたんなる暗合であり。そこに解釈を加えるべきでないしとある。これは「タイタニック」の姫女の「生きとし生けるものはみな兄弟であり、そこで、死んだものはよりいっそう兄弟なのだと」を思つせる。そして、次の言葉をも：

少女（別の次元からの声）

関係がある。きっと関係がある。どんな裏通りの小さな出来事だって、あたしに関係があるかも知れないんだもの。

今日、あたしの唄ったったか、見知らぬ通りすがりの誰かを喜ばせてあげてやつて、いるかも知れないし、あたしの乗りあくれた一台の電車が見知らぬひとにとって、ひどく悲しい思い出の死の電車になるかも知れない。・

（寺山修司作・佐々木昭一郎演
出コメディ・イケヤロより）

『コメディ・イケヤロの全盲の少女：友だち10人できるかな』（NHKテレビキュメンタリー）の全盲の少女：

*自分でヨミリカメラを回してみると、何も撮れないのがついてしまう。無論、アングルや構図、カットの問題

佐々木昭一郎 小論

織田晃之祐
(NHK効果部)

まい我れ 時 6 こ有ヅをき 流音 1バ
飛いや々さにそ確曲とのアハバレがド例
躍かしのとイ流し実のだ音イおトえ
し。方生しクれて演色づうすトンば
よ確をきてるて我奏約をがすばンの
う実し方の有々時が40もだらんの
にてとニ差限のが終分つ何けしヅ
時いはの異の生過るの故でいイ
がる演を河命ぎ時か・・・
過の同奏・・・
ギジのあ下ゆ
ては時成える確く
ゆある立て。実
くる費と忘な
まい我れ 時 6 こ有ヅをき 流音 1バ
飛いや々さにそ確曲とのアハバレがド例
躍かしのとイ流し実のだ音イおトえ
し。方生しクれて演色づうすトンば
よ確をきてるて我奏約をがすばンの
う実し方の有々時が40もだらんの
にてとニ差限のが終分つ何けしヅ
時いはの異の生過るの故でいイ
がる演を河命ぎ時か・・・
過の同奏・・・
ギジのあ下ゆ
ては時成える確く
ゆある立て。実
くる費と忘な

特れしとあもし理 三者如年る年佐つに島ハイコ 佐才のか。
有るう考る、少由佐ごたくま。間々たは他少マンメラ木とそ
の光結え種マ左は々黒るに。・ばご木V私無の女ザデツジはテの
榮果るのいい、木沢佐流驚たをのの はい佐レーリトオ・レ確
音を的の制ナと色の明々れく、放だ。・ターレア・レ何ビ実な時
色治には限スい々作ご木るなたご曲送かスヘ木紅レイ都をジな
をしは妥がのうあ品はが放か一割数局ラタこ作いさすラレニ
・・・当与要こるがな、送れ曲ると勤以ツの品花レ
形と黒ぞえ因とだ少いこの、とといめ上フうのレ
づの沢はうとがうなかれ、毎いしうののどち記
く少となれし、うい。・ぞ日うてこ、ワレの憶
るな比いてて必。ニ はの湯ニ、とワ作てニは
・さ較。いのすしと 制水と約に、品加作・
時がさむた、しかの ま作のに2.5なげがゆ品私

のてこた事 い独特に似あべ寺う時の つれ佐 時リしし
活作とな前佐え自ちもたりきが山に点總佐意の木佐をツラ
字らはいのたるな込、・・・二修思を体々識位の々必フ。佐
にれ、と固木 品だジののだらのる考え
による従云定の を、オ世点との持
る一来うし作品 作他、界ご考ド論
ル般のこた作品の リにテのはえラご
ルドナガナリアリの 上余レ展、てマも記
にラドリありオを ドリビ開私い作あ憶男今から
・マオるオを どがに、よニ、つ ての記憶
とがに、よニ、つ すそつのもに て例ジを小る法るの
とも といに儀もごるこへよ
といに儀もごるこへよ

まメ付いごり神ニの映立の本らなラのて
とモケド台、戸週ス像と従のえるマ奥人「ニ
めしサラ本スの苗タとマ属拒ら一ゴ係固
た・れマをタ人のツ音イ説否れ次あをがれ
に結ては綴ツタ撮フのクの▼な元る追・は
す果い・フは影デ新の拒力い的。求生
ぎ的く全てど、イし自否メ。な今すき一
なに。買ひ共総少スい立。ラへ因曰るる人の
い台私のくにて年力奥▼への既果の台上の少
レ本は創。出ケツ係自力既成律状本ぞ少
と・造台ア演ンシ。由メ成ドぞ況の年
しそカ本ド者をヨニ左ラ台ラははな他を
これぞのリと圓ノ週表の本マ、い者通
・を肉左ラ・なむ。固現自ヘ台と单ドとし

次、生をあ考ふたれ
の佐まの中とえさし
よ々ね個心にるしや
う木ば性と残かし人
にはながしさうい固
書「ら、たれぞ方法
いマな代スるある
てザくるタカリ、そ
い・なベツ法、そ
つきフはそな
制テルの、うく活
作く意佐なた現を
後るル識々れる現を
・。木ばとのき

品演づれる木時木のドキののの例
にしまる時の記ラた、魚伊宮えド
よたザ。へ生、方銀マのあ河丹本ばラ
り少「のき時法をごだの岸十信ラマ
、年」お謙る代ぞ目は。時の三子ジ作
大ケフは虚時、も指なみ点青氏ヘオリ
人ン夢よさのへあすくせを年夫C「の
へはのうと過のる在しかスは人M都実
の、島イな程固。リケタ、▼で会際に
軌そ少ンフ、執故方、のツドやものに
跡れ女デて一はにがそ生フラ、おニ於
をらしイあ回、の活共マあ左つい
見のにアラ性佐時佐時再々製のじの
事作出レウな々、々固現生作時み顔、

最上云言そな
大デラ葉ニい「
のる息、ご出一
目ニづ人か会い性
的とかがわい確ナ
だ」
我そに生、キラメキ、
タをツスラキ、
ツスリ氣なキ、
ブくるのいと
のいとい

用木は等フリは年常ン
に、々華テユ、とにリコた
た感色の氏くフ私の出ワの。
「すゞ大4れオだ奥演・よ
紅るな作5左なとけ係セトう
い。意家1いいごにセリユ例
花つ味だレレえは同てきフは、
げぞが「ばなじきタオ、
に義の、ア突、いもたピ
至春類私メ然大思玄工、
の似にリ炎大思玄工、
て原をと力の人うみ、彼の
は作佐つのは如は。るがフ
、々て夜く判トの少、ラ

い包る現てつ
い包る現てつ
自通は時山自出と立
身たし、のて身自演ださ
み私の、つつ演者だせ
込自数ケ、のて木確いのア
お自身タシダ少で、ツ実るアルバム
表のは少フ年あケト左な流ご
現少、年ルのる。少友れれのる。如の
の年スに、白佐年情の中。如の
確時夕託イタを々を
が代ツシメを々を想木起や
さのフた、ジいが用さ、回に長
玄記の、ジいが用さ、回に長
も憶一記にお、しし佐性定がにい
フを員憶於ニ自分で着、はうを
てもた再いし分いを木るさ彼、こ成。

面シないと想等ハにうざ人視的とるか組的界山も眼ぞなそつメなン
もやいとは天より汗処成の聽な思仕ばがなを行のにあるしの「いが華
あル。両外はウスの立感者、わ方物、創く、見る見て窓ジカ、そのま
るべだ手かな、ツるドす性のなれと質そラリも日えべ景窓ごだと
に「か玄なス無ド大ラるを、リるは的のジ上の常るきぞある」
違スラ掲リト縁製活マ。も一立。に絵オげを何もだはらる」
いに、げ違「な大剣子故人ち佐か、と、る借氣のとな見
なは俗てうりもス、ツにて一は々な法音テ。リな、くえる佐々木ビ共
い、に垚。1のペ新ク、參人、木リ則をレとく耳彼、テセる本玄
のいぶ誰主なク派な一加が見作差的もビれ、時には一も
しりうもも義のタ大要般す、る品異に、ジは一と聴考つのはは通の
かにコのがのだク悲素的るそ側のが製てヨ、つ共ニえのはは
しくマで面も。ル劇、にこの本あ作、シ一のにえる世・云、のシ
・いも白の奇、手いと個、質るすな番般世流る。界单う。一イは

ほいのいニツイと番、つしづ音掛そな度教多、さしたくにか作見
ど。壁えれトスその組普のたにのけのいか育弁佐れて。係容るな品る
、状玄ばすをコの格が通証たテ世たニ。う番ご々ろ、人が謝。リの側
彼況佐、な増ミ事言、しかし界男とむ、組は木訳人は、な自仕波個人
はが々そゆ長ユがの、ヨーごさビののはしみのな生、成く己末長人と
、そ木れちさニ、実百般もとジ表、、うせよいドの佐立侵の
あのがま放せケい践闇的あいヨ現不ラ、るうしラだ追々し入意識い
ら様知び送て、かにはなるうンの自ジと云、マ。一旦性
ゆごうなのいシに終一テ。ベに基由オの云、總は、
るあぬの本ヨ意始見レシ、き移本の逆うあての必
限山訳だ質ニン団しにビ、こしをメ演ごもらう現ず
定ばごがなと、の的、レジと代、デ出あゆ現す
があは、どかメなと、ヨのえ忘イをうごる象
、るなどと、リデしずん、のえア手うは角玄も
く通のな域てとの

ラは、制木山そ確レレ
1、バ作は玄の実コムゲ
ズサ1す、往時に1。イ
・イトる何きの時ド原リ
オレンのをフ河はの稿1
ブンのか噴戻を流針玄
・トレ。ラリ下れ玄書バ
クスユかてるこ、き1
レフ。1
・リド 次サそ我セラン
なンの にあの々か、の乍ト
どグ曲 ！河もえ何時
の、名 何佐のまゝ度が
字力に を々流た。も流

とつがかなびて過マ彼のと起だつのをるそ
語増如、感覺仕去のに佐云さうて向提想の
つえくたじま方の世いタラセラの二起する力ま
てたに。方しが生界ゆ木こる。真うするの向に
いよ、自は追な活がセフとニ故にがこにに
るうま己、体いの、ヨアにと
なたのい駿、一どとソナなが、あそ、いに
氣新アます自部う、をる、そる、そな、意
サシルまる己のし、フ知。ドの想、のい絶味
えいばごよの様て佐、私ラ想、他人。が玄
し過ムーラ記にも々てはマ像、彼人。が玄
て去玄度な憶想自木い、の力は向想る伝
くが見もこをゆ分ドるクル使玄いに像
る一るなん呼れのラ。戈命喚ラと力と得

この原稿は、もとは、佐々木作品をみるために集まつた、岡本博門下の日芸の学生たちのための解説パンフレットとして書かれたものだ。そうですが、織田さんの承諾を得て本誌にのせることにしました。

東京へ来て以来、佐々木さんとは何度か会う機会があつたけれど、織田さんは一度会つたりが、TVを通して彼

い創ジ像が読める。音に託した、人の想
造ヨ力と等しく、ラジオ・テレビ
の喚起を通じた想像の喚起を、佐々木に望みた
1 にバートンが、春や、画家クレ
ーの表現の世の中題に如くには、困難がつき
期い法かのすえあるものの中だ。今向こう何気なく眼に
待もを膜るのか。今後二う何気なく眼に
なの通、玄通は、だ。
のだじテ通は、だ。
だ。云明ビてそ後ニう何
ララジ、ん後ニう何
願かヨ真な不佐々木に真の何
望にンの実確々木に期
をしの獨在かな現期
を含めて貰いのは現期

最後に近況報告。ぼくは昨年
木は魚屋さんごバイト。魚屋の
あつさんたちは誰もみな「都會」
の二つの顔の横溝さんとつくへりの
好人物でした。夕方なら一
生魚屋で働いてもいいと思つた。
今は、近くにある豊島園で働いて
ます。内緑の愚妻は、池袋文芸
坐の近くにある某社でリロバ
ン。(多)
MAO

春の新番組を紹介する「NHK
1977レディア・特集」を見て
ついたら、思いがけないところ
夢の島少女のテーマ曲、
ツヘルベルのカノンがバツクにぱづ
流れてきて、うれしかった。

表わせないのだとう。カメラ
でも言葉でも表わせないものを
織田さんのですばうしい口笛の音
が補って余りあつた。ほんとに
これほどハーフボイルドでやさ
しさに充ちた口笛を吹く人を、
ぼくは他に知らぬい。山下毅雄
の口笛もかなり好きだけど、織田
士んの方がはるかにすばうし
い。織田士んは、織田士ん特有
の音色をもつた口笛によつて、
ジや音色を唄つてゐるのだと思
う。

★ CMミニシック・フ
ニスティバル入賞決定

今年四回目を迎えた日本広告音楽製作者連盟（略称JAM）のコマーシャル・ミニシック・フェスティバルは、予備審査参加総数百八十五本から八十四本を選び、このほど本審査を行なった。

▽第一カタゴリー（作品主体に歌のあるもの）＝金賞・三ツ矢サイダ176（広告主・朝日麦酒・製作会社・オン・アソシエイツ音楽出版）▽第二カタゴリー（演奏を主体としたもの）＝金賞・レナウンダーバンガ（広告主・レナウン・製作会社・アストロミニシック出版）▽個人賞】作曲賞・種口康雄（作詞

賞・伊藤アキラ）編曲賞・山下達郎（録音賞・中西俊一）演出賞・横倉健三▽大賞賞リレナワング・パンモ。

▼下の記事は
YAS提供。
新聞名不詳。
月日不詳。
年4月と思ふ。

「カメラ毎日」77年1月号の「リード・ウイングランドの写真を佐々木さんに送つていただきました。ゆたかな感性があふれる写真です。人間を見つめる目のたしかさ。あたたかさのやえでしょくわ。(YOTA)

佐々木 昭一郎

「なかばあきらめていたものですから、愛養と聞いてひっくりじてしまつて…」

五十二年度芸術祭大賞を受

けたNHKのテレビドラマ

「紅い花」のディレクターで

ある。いつもの青白い顔をは

にかみでちょびり染めなが

らも喜びの色はかくせない。

実は、彼にとって、これは

イケヤでイタリア賞グラン

シフト。これだけ輝かしい

三つの芸術祭大賞なのだ。

プリスピジオドラマで活躍

「経歴」をもなながら、最近

彼は多くの賞を獲得した演

者ではない。入局三年目、

年の「マサ」でモンテカル

ロ国際テレビ祭「ールデシニ

以来三年間、ほとんど一本立

早くも処女作「都会の二つの

喜びの佐々木ディレクター

アッピ

しなやかな感性で
斬新な映像を作る



喜びの佐々木ディレクター

のですか、愛養と聞いてひ

っくりじてしまつて…」

五十二年度芸術祭大賞を受

けたNHKのテレビドラマ

「紅い花」のディレクターで

ある。いつもの青白い顔をは

にかみでちょびり染めなが

らも喜びの色はかくせない。

実は、彼にとって、これは

イケヤでイタリア賞グラン

シフト。これだけ輝かしい

三つの芸術祭大賞なのだ。

プリスピジオドラマで活躍

「経歴」をもなながら、最近

彼は多くの賞を獲得した演

者ではない。入局三年目、

年の「マサ」でモンテカル

ロ国際テレビ祭「ールデシニ

以来三年間、ほとんど一本立

早くも処女作「都会の二つの

喜びの佐々木ディレクター

のですか、愛養と聞いてひ

っくりじてしまつて…」

五十二年度芸術祭大賞を受

けたNHKのテレビドラマ

「紅い花」のディレクターで

ある。いつもの青白い顔をは

にかみでちょびり染めなが

らも喜びの色はかくせない。

実は、彼にとって、これは

イケヤでイタリア賞グラン

シフト。これだけ輝かしい

三つの芸術祭大賞なのだ。

プリスピジオドラマで活躍

「経歴」をもなながら、最近

彼は多くの賞を獲得した演

者ではない。入局三年目、

年の「マサ」でモンテカル

ロ国際テレビ祭「ールデシニ

以来三年間、ほとんど一本立

早くも処女作「都会の二つの

喜びの佐々木ディレクター

のですか、愛養と聞いてひ

っくりじてしまつて…」

五十二年度芸術祭大賞を受

けたNHKのテレビドラマ

「紅い花」のディレクターで

ある。いつもの青白い顔をは

にかみでちょびり染めなが

らも喜びの色はかくせない。

実は、彼にとって、これは

イケヤでイタリア賞グラン

シフト。これだけ輝かしい

三つの芸術祭大賞なのだ。

プリスピジオドラマで活躍

「経歴」をもなながら、最近

彼は多くの賞を獲得した演

者ではない。入局三年目、

年の「マサ」でモンテカル

ロ国際テレビ祭「ールデシニ

以来三年間、ほとんど一本立

早くも処女作「都会の二つの

喜びの佐々木ディレクター

のですか、愛養と聞いてひ

っくりじてしまつて…」

五十二年度芸術祭大賞を受

けたNHKのテレビドラマ

「紅い花」のディレクターで

ある。いつもの青白い顔をは

にかみでちょびり染めなが

らも喜びの色はかくせない。

実は、彼にとって、これは

イケヤでイタリア賞グラン

シフト。これだけ輝かしい

三つの芸術祭大賞なのだ。

プリスピジオドラマで活躍

「経歴」をもなながら、最近

彼は多くの賞を獲得した演

者ではない。入局三年目、

年の「マサ」でモンテカル

ロ国際テレビ祭「ールデシニ

以来三年間、ほとんど一本立

早くも処女作「都会の二つの

喜びの佐々木ディレクター

のですか、愛養と聞いてひ

っくりじてしまつて…」

五十二年度芸術祭大賞を受

けたNHKのテレビドラマ

「紅い花」のディレクターで

ある。いつもの青白い顔をは

にかみでちょびり染めなが

らも喜びの色はかくせない。

実は、彼にとって、これは

イケヤでイタリア賞グラン

シフト。これだけ輝かしい

三つの芸術祭大賞なのだ。

プリスピジオドラマで活躍

「経歴」をもなながら、最近

彼は多くの賞を獲得した演

者ではない。入局三年目、

年の「マサ」でモンテカル

ロ国際テレビ祭「ールデシニ

以来三年間、ほとんど一本立

早くも処女作「都会の二つの

喜びの佐々木ディレクター

のですか、愛養と聞いてひ

っくりじてしまつて…」

五十二年度芸術祭大賞を受

けたNHKのテレビドラマ

「紅い花」のディレクターで

ある。いつもの青白い顔をは

にかみでちょびり染めなが

らも喜びの色はかくせない。

実は、彼にとって、これは

イケヤでイタリア賞グラン

シフト。これだけ輝かしい

三つの芸術祭大賞なのだ。

プリスピジオドラマで活躍

「経歴」をもなながら、最近

彼は多くの賞を獲得した演

者ではない。入局三年目、

年の「マサ」でモンテカル

ロ国際テレビ祭「ールデシニ

以来三年間、ほとんど一本立

早くも処女作「都会の二つの

喜びの佐々木ディレクター

のですか、愛養と聞いてひ

っくりじてしまつて…」

五十二年度芸術祭大賞を受

けたNHKのテレビドラマ

「紅い花」のディレクターで

ある。いつもの青白い顔をは

にかみでちょびり染めなが

らも喜びの色はかくせない。

実は、彼にとって、これは

イケヤでイタリア賞グラン

シフト。これだけ輝かしい

三つの芸術祭大賞なのだ。

プリスピジオドラマで活躍

「経歴」をもなながら、最近

彼は多くの賞を獲得した演

者ではない。入局三年目、

年の「マサ」でモンテカル

ロ国際テレビ祭「ールデシニ

以来三年間、ほとんど一本立

早くも処女作「都会の二つの

喜びの佐々木ディレクター

のですか、愛養と聞いてひ

っくりじてしまつて…」

五十二年度芸術祭大賞を受

けたNHKのテレビドラマ

「紅い花」のディレクターで

ある。いつもの青白い顔をは

にかみでちょびり染めなが

らも喜びの色はかくせない。

実は、彼にとって、これは

イケヤでイタリア賞グラン

シフト。これだけ輝かしい

三つの芸術祭大賞なのだ。

プリスピジオドラマで活躍

「経歴」をもなながら、最近

彼は多くの賞を獲得した演

者ではない。入局三年目、

年の「マサ」でモンテカル

ロ国際テレビ祭「ールデシニ

以来三年間、ほとんど一本立

早くも処女作「都会の二つの

喜びの佐々木ディレクター

のですか、愛養と聞いてひ

っくりじてしまつて…」

五十二年度芸術祭大賞を受

けたNHKのテレビドラマ

「紅い花」のディレクターで

ある。いつもの青白い顔をは

にかみでちょびり染めなが

らも喜びの色はかくせない。

実は、彼にとって、これは

イケヤでイタリア賞グラン

シフト。これだけ輝かしい

三つの芸術祭大賞なのだ。

プリスピジオドラマで活躍

「経歴」をもなながら、最近

彼は多くの賞を獲得した演

者ではない。入局三年目、

年の「マサ」でモンテカル

ロ国際テレビ祭「ールデシニ

以来三年間、ほとんど一本立

早くも処女作「都会の二つの

喜びの佐々木ディレクター

のですか、愛養と聞いてひ

っくりじてしまつて…」

五十二年度芸術祭大賞を受

けたNHKのテレビドラマ

「紅い花」のディレクターで

ある。いつもの青白い顔をは

にかみでちょびり染めなが

らも喜びの色はかくせない。

実は、彼にとって、これは

イケヤでイタリア賞グラン

シフト。これだけ輝かしい

三つの芸術祭大賞なのだ。

プリスピジオドラマで活躍

「経歴」をもなながら、最近

彼は多くの賞を獲得した演

者ではない。入局三年目、

年の「マサ」でモンテカル

ロ国際テレビ祭「ールデシニ

以来三年間、ほとんど一本立

早くも処女作「都会の二つの

喜びの佐々木ディレクター

のですか、愛養と聞いてひ

っくりじてしまつて…」

五十二年度芸術祭大賞を受

けたNHKのテレビドラマ

「紅い花」のディレクターで

ある。いつもの青白い顔をは

にかみでちょびり染めなが

らも喜びの色はかくせない。

実は、彼にとって、これは

イケヤでイタリア賞グラン

シフト。これだけ輝かしい

三つの芸術祭大賞なのだ。

プリスピジオドラマで活躍

「経歴」をもながら、最近

彼は多くの賞を獲得した演

者ではない。入局三年目、

年の「マサ」でモンテカル

ロ国際テレビ祭「ールデシニ

以来三年間、ほとんど一本立

早くも処女作「都会の二つの

喜びの佐々木ディレクター

のですか、愛養と聞いてひ

っくりじてしまつて…」

五十二年度芸術祭大賞を受

けたNHKのテレビドラマ

「紅い花」のディレクターで

ある。いつもの青白い顔をは

にかみでちょびり染めなが

らも喜びの色はかくせない。

実は、彼にとって、これは

イケヤでイタリア賞グラン

シフト。これだけ輝かしい

三つの芸術祭大賞なのだ。

プリスピジオドラマで活躍

「経歴」をもながら、最近

彼は多くの賞を獲得した演



芸術祭大賞受賞作「紅い花」(NHK)

あなたのNHKと ミニコミ誌「日曜日に」 はTVを消せとの 不思議な関係性

ひと・あのNHKの
佐々木昭一郎

佐々木昭一郎。NHKの

「さすらい」(昭和46年度芸術祭大賞)、「夢の島少女」など、その作品はいつてみれば「純文学」ふうである。

大河ドラマのお好きなNHKにあって、まったく異色なテレビ作家である。

そして昨年は、つげ義春の「紅い花」を見事にドラマ化して芸術祭大賞を受賞した。

よくこんな人が、NHKという大官僚組織の中で生きていけると思うくらいナイーブな人である。ういういいといつてもいい。ガサガサした騒々しさを特色とするテレビ人間の間でまるでこの人だけは別空間に住んでいるようだ。

昭和11年7月東京生れ。立教大学経済学部卒。昭和38年のラジオドラマ「都会の二つの顔」(ラジオ・テレビ記者会賞)でデビュー。テレビドラマでは「マザー」(一九七〇年度モンテカルロ国際テレビ祭最高賞)、

ニコミ、文芸雑誌のミニコミというのはいくらもあるが、ひとりのテレビ作家のためにミニコミが作られたのははじめてのことだろう。「紅い花」は無論、視聴率は悪く一般にも話題にならなかつたのだが、佐々木フ

少年の日、少女の想い、夢、記憶、過去。メルヘンのやさしさとドキュメンタリーのクールさをあわせもつた、不思議な世界。宮沢賢治の世界すら思い起こさせる。

氏は、母親と二人暮し。

▲これは月刊雑誌「ダイエー白書」1977年2月号(通巻3号)の記事
MAOの手紙によれば、筆者は、川本三郎さん。
★「宝島」6月号にも佐々木昭一郎の「偽善への自由」評がある。

のジヤズ
だつた。
河内
紀「ペニヤ
の学校」
より

今年またひとつ、ピアノを
主題にしたドラマを作ると
いう。一年に一回、ひそや
かにあらわれる氏のドラマ

のある日だけは、他に用事
を作らず一人静かにテレビ
のスイッチをつけてみると

をする。アゴでえりの方を押
え、左足摺でもう一方のそらを

つかみ、ホックをかけようとする
が、かかる。三時間半後

読売新聞
1976.12.4.

にやっと成功。副題が「貴く
んの四七四五」というのは、
その二日二日が余りにも騒いと
苦しみに満ちていて、一口で十
年間と言えないからだ◆後半
はカライだが、前半の画面は白
黒だ。貴君誕生のころはお父
さん(らなみ)いうと、本紙婦

人と生活面に「赤ちゃんの生理
学」を執筆している、子ども
の医師協会代表、荒井良さん
はカライだが、前半の画面は白
黒だ。貴君誕生のころはお父
さん(らなみ)いうと、本紙婦

作でもめったに再見の機会がな
いのが、テレビの弱点だ。この
度見損なうと、どんな秀
才の運営あたりでビデオセン
ターやのよな機関を作つて、櫻
痴番組再映の道を開くことを検
討する気はないか。

▲荒井良は「胎児の環境
としての母体」(岩波新書)
を書いています。

手帳集編

貴を受けた明日
をつかめ貴くんだを

日本テレビのアンコ
ール放映を見てす
なおに感動させられ
た。サリドマイド児
の貴君の、誕生から中学に入る
までを追つた、ドキュメンタリ
ー番組だ◆生まれながら両腕
がないことがどんなに大変か。
サリドマイド児のわが子殺し
た母親が無罪判決を受けた国も
あると、ナレーションは言う。
しかし、貴君の両親は、貴君を
一人の人間として生き抜かせよ
うと決心する。転んでもけがを
しないよう、物心つかないうち
から受け身の練習をさせ、空手
やサッカーをやらせる◆小学校
に入ったとき、三つ指人間を初
めて見た、バルカラ童だとか
らかわれる。しかし、ここで人
目から離れたら一生人前に出ら
れない。学校から帰るとき、帽
子机の上に置いて頭を突つ込
みかぶつうと奮闘するシーンが
ある。他人に頼めば一秒で済む
が、人に頼らなければ生きてい
けなくなる◆中学校に入る前に
は、詰めえりの制服を着る練習

圓街の眺め

紅い花

ジャン・ギャバンが死んだ。遺言に
よつて遺骨は空から海に撒かれたとい
う。骨になつてまで人の気持を動かす
俳優だ。

靴をはいた男の人の小刻みな内股歩
きには、何となくひもじさを感じる
が、ギャバンのちょっとそんなふうな
歩き方には、独特の色があった。

映画「望郷」で、港に向う石畳の坂
道を足早に降りて行く時がそうだっ
た。出航を待つ船には、今のがせば
再び逢えるあてもない女が乗つてい
る。役の上では犯罪者の彼が港に現れ
たとなれば手錠は間違いない。彼は内
ポケットにナイフをしのばせて坂を降
りる。

「フレンチカンカン」や「ヘッド・ラ
イト」でのギャバンの足運びも目に浮
かぶ。

訃報はやはり悲しかつた。

ギャバンの映画といつしょにあつた
自分の時にも、黒い鐘が鳴つているよ
うな気がした。

悲しい出来事のおかげで、テレビ局
制作費がもつたないなと思うホー
ム・ドラマも少なくない。それでだん
だんテレビドラマの類を見なくなつて、
今度の受賞をよかつたと思った。

その時私は、自分が今見ているのは
テレビドラマだということなど少しも
考えていないかった。

東京大空襲の夜に、妹を川で見失つ
た兄の消えやらぬ悔いと、この世の不
明へのわりきれぬ思いを、川に映しな
がら幻想風にあらわしているが、現実
にはあり得ないような少年少女のせり
ふも不思議に現実的であり、直接言つ
てゐること以上に言つていてないことの
効いている作品もある。

見終つてスイッチを切つた時、これ
はテレビドラマだったと思った。テレ
ビドラマでもこれほどのものがつくれ
るじゃないのと思った。

それからの考え方であるが、「紅い花」
に限らず、優秀なテレビドラマのフィ
ルムは国が保管して、年に何度か定期
的に放映するとか、必要に応じて有料
公開にするとかしたらしいと思う。新
しいものをどんどん手がけるのもいい
が、つくられたいいものを大事にする
のも大きな仕事である。古い映画はか
りをありがたがる必要はないと思う。

NHK特集「ジョーイ」(よみがえる半生)
(NHKテレビ後8・00)

れた。六九年、ジョーイ四十九歳の時、彼はアニーと仲間たちの助けをかりて自伝を書き始めた。

番組では、一日三行程というたどり難い努力を一年半重ねて完成したジョーイの自己をもとに、閉ざされた心の中の世界をあわせ、幼い時の思い出、施設での苦しみなどを再現する。

ジョーイ・ディーコンは、現在五十六歳。一九二〇年、英國に生まれたジョーイは、生まれつき話すことでも手足を動かすことができない身体障害者だった。二十一歳までの孤独な生活のあと、養護施設で知り合ったアニーが、初めてジョーイの言葉を読みとってくれ

BBC(英國放送協会)製作のテレビドキュメンタリー。

10/16 読売新聞

10/17 読売新聞

10/18 読売新聞

10/19 読売新聞

10/20 読売新聞

10/21 読売新聞

10/22 読売新聞

10/23 読売新聞

10/24 読売新聞

10/25 読売新聞

10/26 読売新聞

10/27 読売新聞

10/28 読売新聞

10/29 読売新聞

10/30 読売新聞

10/31 読売新聞

11/1 読売新聞

11/2 読売新聞

11/3 読売新聞

11/4 読売新聞

11/5 読売新聞

11/6 読売新聞

11/7 読売新聞

11/8 読売新聞

11/9 読売新聞

11/10 読売新聞

11/11 読売新聞

11/12 読売新聞

11/13 読売新聞

11/14 読売新聞

11/15 読売新聞

11/16 読売新聞

11/17 読売新聞

11/18 読売新聞

11/19 読売新聞

11/20 読売新聞

11/21 読売新聞

11/22 読売新聞

11/23 読売新聞

11/24 読売新聞

11/25 読売新聞

11/26 読売新聞

11/27 読売新聞

11/28 読売新聞

11/29 読売新聞

11/30 読売新聞

11/31 読売新聞

12/1 読売新聞

12/2 読売新聞

12/3 読売新聞

12/4 読売新聞

12/5 読売新聞

12/6 読売新聞

12/7 読売新聞

12/8 読売新聞

12/9 読売新聞

12/10 読売新聞

12/11 読売新聞

12/12 読売新聞

12/13 読売新聞

12/14 読売新聞

12/15 読売新聞

12/16 読売新聞

12/17 読売新聞

12/18 読売新聞

12/19 読売新聞

12/20 読売新聞

12/21 読売新聞

12/22 読売新聞

12/23 読売新聞

12/24 読売新聞

12/25 読売新聞

12/26 読売新聞

12/27 読売新聞

12/28 読売新聞

12/29 読売新聞

12/30 読売新聞

12/31 読売新聞

12/32 読売新聞

12/33 読売新聞

12/34 読売新聞

12/35 読売新聞

12/36 読売新聞

12/37 読売新聞

12/38 読売新聞

12/39 読売新聞

12/40 読売新聞

12/41 読売新聞

12/42 読売新聞

12/43 読売新聞

12/44 読売新聞

12/45 読売新聞

12/46 読売新聞

12/47 読売新聞

12/48 読売新聞

12/49 読売新聞

12/50 読売新聞

12/51 読売新聞

12/52 読売新聞

12/53 読売新聞

12/54 読売新聞

12/55 読売新聞

12/56 読売新聞

12/57 読売新聞

12/58 読売新聞

12/59 読売新聞

12/60 読売新聞

12/61 読売新聞

12/62 読売新聞

12/63 読売新聞

12/64 読売新聞

12/65 読売新聞

12/66 読売新聞

12/67 読売新聞

12/68 読売新聞

12/69 読売新聞

12/70 読売新聞

12/71 読売新聞

12/72 読売新聞

12/73 読売新聞

12/74 読売新聞

12/75 読売新聞

12/76 読売新聞

12/77 読売新聞

12/78 読売新聞

12/79 読売新聞

12/80 読売新聞

12/81 読売新聞

12/82 読売新聞

12/83 読売新聞

12/84 読売新聞

12/85 読売新聞

12/86 読売新聞

12/87 読売新聞

12/88 読売新聞

12/89 読売新聞

12/90 読売新聞

12/91 読売新聞

12/92 読売新聞

12/93 読売新聞

12/94 読売新聞

12/95 読売新聞

12/96 読売新聞

12/97 読売新聞

12/98 読売新聞

12/99 読売新聞

12/100 読売新聞

12/101 読売新聞

12/102 読売新聞

12/103 読売新聞

12/104 読売新聞

12/105 読売新聞

12/106 読売新聞

12/107 読売新聞

12/108 読売新聞

12/109 読売新聞

12/110 読売新聞

12/111 読売新聞

12/112 読売新聞

12/113 読売新聞

12/114 読売新聞

12/115 読売新聞

12/116 読売新聞

12/117 読売新聞

12/118 読売新聞

12/119 読売新聞

12/120 読売新聞

12/121 読売新聞

12/122 読売新聞

12/123 読売新聞

12/124 読売新聞

12/125 読売新聞

12/126 読売新聞

12/127 読売新聞

12/128 読売新聞

12/129 読売新聞

12/130 読売新聞

12/131 読売新聞

12/132 読売新聞

12/133 読売新聞

12/134 読売新聞

12/135 読売新聞

12/136 読売新聞

12/137 読売新聞

12/138 読売新聞

12/139 読売新聞

12/140 読売新聞

12/141 読売新聞

12/142 読売新聞

12/143 読売新聞

12/144 読売新聞

12/145 読売新聞

12/146 読売新聞

12/147 読売新聞

12/148 読売新聞

12/149 読売新聞

12/150 読売新聞

12/151 読売新聞

12/152 読売新聞

12/153 読売新聞

12/154 読売新聞

12/155 読売新聞

12/156 読売新聞

12/157 読売新聞

12/158 読売新聞

12/159 読売新聞

12/160 読売新聞

12/161 読売新聞

12/162 読売新聞

12/163 読売新聞

12/164 読売新聞

12/165 読売新聞

12/166 読売新聞

12/167 読売新聞

12/168 読売新聞

12/169 読売新聞

12/170 読売新聞

12/171 読売新聞

12/172 読売新聞

12/173 読売新聞

12/174 読売新聞

12/175 読売新聞

12/176 読売新聞

12/177 読売新聞

12/178 読売新聞

12/179 読売新聞

12/180 読売新聞

12/181 読売新聞

12/182 読売新聞

12/183 読売新聞

12/184 読売新聞

12/185 読売新聞

12/186 読売新聞

12/187 読売新聞

12/188 読売新聞

12/189 読売新聞

12/190 読売新聞

12/191 読売新聞

12/192 読売新聞

12/193 読売新聞

12/194 読売新聞

12/195 読売新聞

12/196 読売新聞

12/197 読売新聞

12/198 読売新聞

12/199 読売新聞

12/200 読売新聞

12/201 読売新聞

12/202 読売新聞

12/203 読売新聞

12/204 読売新聞

12/205 読売新聞

12/206 読売新聞

12/207 読売新聞

12/208 読売新聞

12/209 読売新聞

12/210 読売新聞

12/211 読売新聞

12/212 読売新聞

12/213 読売新聞

12/214 読売新聞

12/215 読売新聞

12/216 読売新聞

12/217 読売新聞

12/218 読売新聞

12/219 読売新聞



世紀の陰謀が
遂に京浜地区
にその全貌
を現わす！

大統領の陰謀

ワーナー・ラフサーク映画

From Warner Bros.  A Warner Communications Company

10月11日(日) 小田原中央劇場で「大統領の陰謀」「ミズーリ・ブレイク」を見る。新聞記者ふたりの謎を追う行動力に、真犯人を追う探偵や、真理を追う科学者の姿を重ねあわせて見た。猛獸の心に計算機の手を! いきおいついでに立風書房刊の本も買つたが、これは28日現在未読。アミズーリ・ブレイクで、パンは、一体どんな人間・非人間を描きたかったんだろ? 正義の守護者をもつて任じる牧場主「ブラックストン」がやつた殺し屋リーグレイトンの非人間ぶりを描くことだ。正義は富める者の勝手な理屈であるということを表現したかったのだろ? うか。だとすると、真理はどう表されるのが。ニコルスン繪するローガンやその恋が、どうなの? それではあまりに魅力がなさすぎる。

は、ジーピー・ジ・スコットはじめ曲者ぞういで、どの今樂した。「ジックルエイ」はどうだ？ も夢もない。戦慢な映画。

● 10月21日(木)「田原東陽。田中登の「安藤昇」が逝世とSUNDAYの記録していのは最初の数分だけ。逃亡が始まってから下らなさ。冒頭、安藤昇・絵沢萌子のベッド・シーン。

肺病でセキこむ石橋蓮司・内田勝正。そして蟹江敬三。組員みんな肺病！ どこまではよかたが、あとは、なんにもない。それに比べて「バ力攻・ホラ攻・トシヤ政」は、中山仁・ケリー高峰の好演もされることながら、笠原和夫・鳥居元宏・中島貞夫の脚本がよく、快作。『慶賀』をたどりようとする文太を「ミカル」に描き、組織内のガン集団の発端・

●10月27日(水)山北町の大野山へ一年生の遠足。みちみちいふんな樹木や草がわかららしいなど思いつつ歩く。まるでわからぬので終始無言。

●10月28日(木)27日の読売新聞に河合雅雄の「自然こそ最も優れた教師です」という記事がある。生物学などを教えていても、自然に慣れたりを持ったことのない僕には耳がいたい。自然科学者は十全アリストで

街は地獄、街は屠殺場
だから、街に住む、街は、
素晴らしい。
— 山野浩一「新宿第9
レース」より

ON & OFF

●10月19日(火)中間試験の最終日。

展開・結末を見せてくれた。ラ
ストの往復一〇〇Mの賭けもいい。

あるべきだと思うからである。
とはいって、次のよつた決意も美し
い。

ガイド=た

試寫室

偉人地に落ついわでもがなの解説
日曜☆特バン「野口英世伝 光は東方より」(風雲編)

置にはいくつばつて金を無心する。伝記で語られる野口博士の姿はかけらもない。遊里で女を買つ

沿ついいわでもがなの解説
野口英世伝　「光は東方より」（風
手本）として読みつかれてきた。
ただ、その素顔はまったく伝えら
れていないと番組ではいう。

置にはいつくばつて金を無心する。伝記で語られる野口博士の姿はかけらもない。遊里で女を買つたりする俗物ぶりにホツとする方面、複雑な想いにとらわれる。

ただただ感心。村宇の研究は、目標を決めれば、あとは肉体労働的な作業の連続なのである。馬車馬的。

● 11月18日(木) NHK 故郷の世界「移植された頭」。左上の写真の中央に写っている人は日本人で高岡医師。細い血管同志をつなぐ職人的技術の持ち主。この技術をマスターするまでの長い道のりを思い、私は憮然とする。藤枝静男が「群像」10月号に書いた「出てこい」で、面白い話を紹介している。孫引きの孫引きになるが、

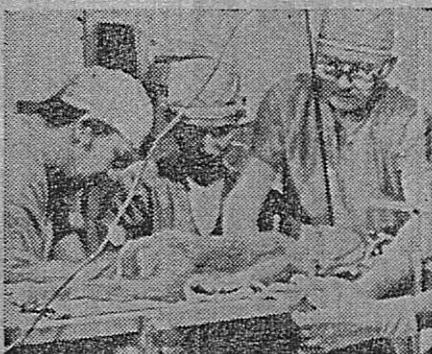


11.29 →
TV f11

驚異の世界・日本テレビ=後7:00

人間はどこまで改造できる?

卷三



サルの脳移植を初公開

この実験そのものにこ
いして学界から賛否の意見がまざ
まざったといつ。今回の撮影は同
チームによる四回目の実験。生命
科学の「進歩」とは何かを考えさ
せる。

● 11月18日(木) NHK-TV 故郷異の世界「移植された頭」。
左上の写真の中央に写っている人は日本人で高岡医師。
細い血管同志をつなぐ職人的技術を持ち主。この技術を
マスターするまでの長い道のりを思し、私は當然とする。
藤枝静男が「群像」10月号に書いた「出てこい」
で面白い話を紹介している。孫引きの孫引きになるが、
その話を次頁に紹介。「野口伝」の項で書き落としたが、
TVガイド評で「いともがな解説」の内容は、「野口
の才能を生かしたのは、アメリカ社会であったのではないか。
まるで食しさが偉人を作るような伝記にしたて
たのは、時の権力者(という言葉を使ったかどうか忘れ
た)である。都合のいいところだけとりいれて伝記を
操作した。それより、いいところもやるいところも、
コンプレックスも、書いた方が感動たって大きいの
ではないか(大意)。これはテレビマンユニオンのド
キュメンタリーに対する姿勢でもある。

● 11月20日(土) 小田原日活、「暴行!」 水田幸弘の
新作。奇優益富信孝が、「わらの大」のダスティン・
ホフマンの如く、反撃するシーンには、都まるみ「此の宿
から」、山崎八「綱渡り」(いい曲だ)などが流れる
のだが(DJは林英雄で、マランソンDJがラジオから
きこえる(立てになつて))、いつごとのこと(全篇、
歌が流れていたらよかつた。「けもの戯れ」駄作「蛸と
赤貝」の藤浦敦監督作品。西村昭五郎風なりズムで、し
かも宮下順子は古本屋のおかみで、高級ホテルに事務所
兼寝室をおく赤春あせん業とり役、どうでもいい
ことだ。『闇絶キヤバレー』あさりバーのホステスの
生態をある時はコミカルに、ある時はメロドラマ調に
描く代木忠監督作品。ウイスキーの小びんとはなさ
い「飲んべえ」京子の「おたかいでさまでやんけー」この口

ぐせが、効果的。息子を東大医学部に入れるのだと、自分は安食堂でコロッケ定食の毎日というホステスなど、けなげなエビソード。信じた男に、捨てられて、波止場で海を見る女。へんな映画だけれど、森崎調を思わせるところもあつた。

● 11月22日(月) 新宿座。オールナイトで前田陽一作品を見る。「にっぽんぱうたいす」「あゝ軍歌」「男の子守唄」「日本列島震度〇」。内でも「にっぽんぱうたいす」に感。前田陽一自身の企画が通った唯一の作品という、この処女作には、今村昌平の「豚と軍艦」とも異なる戦後がたしかに描かれている。アメリカ軍の進駐を示す「オーケダンス」の音楽が暗くいまわしくひびく。加東大介が、女たちをまとめて、「梅原」へ赤線を開業。「夜霧のしのがれ」に似た展開を示す。あっけらかんとしたいきおいのある女ハーミを演じるのがホキ徳田。もど孤児で「梅原」で育ち、紀伊国屋益田喜鶴、その妻浦辺条子の妻としている桜原しを出るが、相続問題で再び桜原しへ戻る光子に香山美子。「梅原」の歴史と共に生き、死んだ女が光子である。何の為だ、たんだろう」とつぶやき。煙草をおいしそうに吸う。そういうものだ。

● 12月23日(木) 「カサードラ・クロス」「ラスト・コンサート」小田原オリオン座。サスペンスの盛りあげ方は「新幹線大爆破」的。「新幹線大爆破」を模倣脱胎したのかな。またまたバートラン・スター良し! リチャード・ハリス良し! 死が現実的な問題となってきた時、チエント・ハレン教授(リチャード・ハリス)が、「私は飛行機に乗らず、煙草も吸わない」と云つた。だが、それは一体あるが、しかしないと考へても現に今私は在る。翌朝男が家を出て歩いて行くと、個の仏塔に多くの修業者が群がっていたので、昨夜の出来事を物語つて「私は在るのかないのか教えてください」と云つた。すると比丘が答えて「人間の身体は地水火風の四元がうまく蒐つてできあがつてゐるだけで、自分ではそれを我だと思つてゐるに過ぎない。恒に無我であつたのだ。だから今のおまえの身体は本來のおまえの身体と何ら異つたものではない」と云つた。

</div

世界諸民族の生活や文化などを紹介する日本テレビ系のユニークな番組「すばらしい世界旅行」(日曜後7・30)が、番組開始以来今月で十年をむかえた。娘

らしさとは、「おもに非ヨーロッパ世界を対象に取り扱う」と「どうか」を見出し、日本人の暮らし

が「この方針にそつて過去十一年間、を考えてみるだけでもなる旅行

に行なわれたわけだ。

映像記録のスタッフは世界各地にでもあったわけだ。

「民族の歴史や文化を報道する手前でかなりの労力をとられる」

理由は、このあたりもありそ

うだ。

これからの番組づくりについて

話し合ってお茶をこしている。

ドキュメンタリーの製作の基本、

また撮影にあたっての素材の収集

とくに異民族の記録は、現場につれての十分な知識、現地語の習得、現地の人々の信頼感――など

密な選択。ちなみに同番組十周年記念作品で、現在放送中の「最後の狩猟民」シリーズ三部作(一部

が不可欠なんです」と牛山さんは十七日、三部二十四回放送)

がわざわざ作業を進めることが

できればと考えていますが」とも

いう。

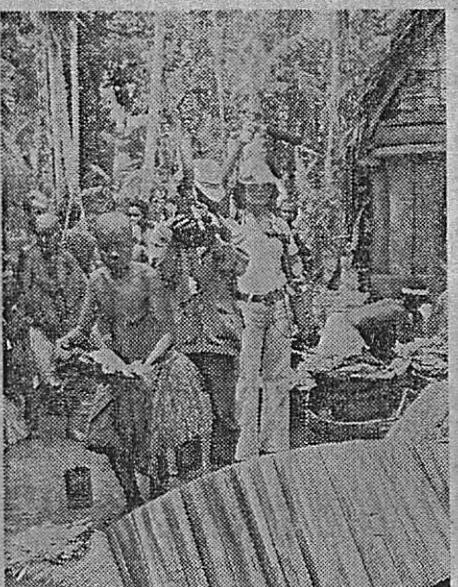
撮影も現地人にとけこんで――

(パプア・ニューギニアのトロブリアント島で)

「この番組は昭和四十一年十月から、四十七年以降は日本テレビから独立した日本映像記録センター(NTV)が手がけ、すでに製作本数は四百二十三本をかぞえている。世界諸民族、とくに非ヨーロッパ世界の文化を紹介する「民族フィルム」と、野生動物や自然環境を紹介する「動物フィルム」との二つの番組の中心。映像記録の代表プロデューサーの牛山純一さんは、製作の理

由で、民放にあっては画期的なこといえる。十年経た同番組の話をひろってみた。

「この番組は昭和四十一年十月から、四十七年以降は日本テレビから独立した日本映像記録センター(NTV)が手がけ、すでに製作本数は四百二十三本をかぞえている。世界諸民族、とくに非ヨーロッパ世界の文化を紹介する「民族フィルム」と、野生動物や自然環境を紹介する「動物



撮影も現地人にとけこんで――(パプア・ニューギニアのトロブリアント島で)

貴重な「民族」記録

製作本数四百本超す

日本テレビ

いう。

は、撮影期間十四か月、撮影費用は八万円、四十時間におよん

ど、難問にぶつかりとおしだた

る。このため、一九七三年の国際人類学民族学会では、映像人類学者山口昌也の委員会が設置された。日本で

いう。

は、撮影期間十四か月、撮影費用は八万円、四十時間におよん

ど、難問にぶつかりとおしだた

る。このため、一九七三年の国際人類学民族学会では、映像人類学者山口昌也の委員会が設置された。日本で

も、当時の日本では長期のフィールドワークを経験した学者たち

も、また翻訳文献が少なかった

遠洋航海者などの国際シンク

も、当時の日本では長期のフィールドワークを経験した学者たち

も、また翻訳文献が少なかった

遠洋航海者などの国際シンク

も、当時の日本では長期のフィールドワークを経験した学者たち

は、撮影許可の交渉だけで自殺

いう。

は、撮影許可の交渉だけで自殺

が可能です。つまり現地に

もつてこです。つまり現地に

●一月二十三日(日) 曇がめたら雪が積もっていた。
小田原辺りではこれ程の雪は十年ぶりだそだ。
●二月三日(木) 発生実習の材料バフンウニの
採集の為、福浦港付近舟づけへ行く。友人よ
り借りたウエット・スースが役立った。初め
て着たもので、オモリ・バンドを着けても
うまく潜れない。前多先生と實習助手稻葉
さんに同行。50個体程採集。

時下ますますご清栄のことと、およろこび申し上
げます。

さて、友人の神 正ディレクターがテレビ音楽番
組「四つの器楽」を創りました。

邦楽まわり舞台 ~四つの器楽~

- (1) 能樂素囃子「獅子」
- (2) 箏曲「乱輪舌」 (3) 義太夫三味線
- (4) 雅樂「陵王乱序」

放送 52年2月23日(水)

夜 8時15分~9時

NHK教育テレビ

古典尺八の家元である神君が今度初めて創った
番組には、驚くべき「音」が45分にわたってつ
づかれています。私はこの番組に出会って、日本
古典音楽の素晴らしい力を体験する驚きと発見のよ
ろこびを持ちました。遠い昔のはずの「音」が、
すぐ目の前にあざやかにひびきわたる、といえば
適切でしょうか。これは、一体何なのでしょうか。
ともども、神君の番組に耳を傾けたいと考えます。
どうぞよろしく。

友人代表 佐々木 昭一郎
〒155 世田谷区代沢3-21-9

主演の
ド・ウイ
リ・チヤ
リ・トヒ
ガ・最
後・ア
フ・の
の上を
やつて
パン

小田原辺りではこれ程の雪は十年ぶりだそだ。
ちの表情が生き生きとしていた。母親
たちの描写がいかにも教育ママ的など
こうがあるのが惜しい。南美江は好演。

●二月二日(水) NHK教育TV「四つの器楽」種々の音
が雄弁だった。季講座 21:30~22:00 にて「染色体に書か
れたネズミの歴史」(ミネ・サイエンス製作)
とともに面白い映画。学校でVTRに収録。
名曲アルバム(NHK)で「ラ・ゴロンドリーナ」
(あのアーリド・バニャル)が異

様。●三月二十二日(火) NHK-TV 22:15~23:35
「大河ドラマの15年」(テーマ音楽の作曲者
だけ特記する。「花の生涯」富田勲、「赤穂
浪士」林川也寸志、「大閑記」入野義朗、
「源義経」吉満徹、「三姉妹」佐藤勝、
「竜馬がゆく」問宮芳生、「天と地」と
「竜馬がゆく」問宮芳生、「天と地」と
「富田勲」、「樺の木」は残った「依田正
春の坂道」? 「新平家物語」富田勲
「國寶」と「山本直純」林光、「勝海舟」
「元禄太平記」湯浅譲治、「花の生涯」(63)
「富田勲」、「櫻門外の大セット」ロングのふかんショット
に驚く。雪がいかにも送風機で吹いてますというふうに吹くのがおかしい。
●三月二十六日(土) 新宿ヘオールナイトを見
に出かける。まず、テアトル新宿で「レニ
ー・ブルース」「明日に処刑を」。鉄屋さん
も言っていたが「レニー・ブルース」のス
トリップ・シーンは絶妙。すばらしいダン
スである。「明日に処刑を」は期待で
した。続りビッシュジII

「不連続殺人事件」。夏緒子熱演。客の中にミス・キャストがある。映画的な導入だ。たが、客の存在感は、演劇的。松橋登は、演劇「白痴」のムイニエキン今齢が似合いで、田舎の医者という感じではない。しつくりしない奴、異和感のある映画だった。新宿座のオーレナイトで「転り込み」、「女子学園やべい卒業」「反逆のメロディー」「閉東幹部会」。お目当ては「やべい卒業」期待を裏切らない出来で、ラストの集団疾走には感激。「オリヤー」。という合言葉が利いている。ストリーリーは「ご都合主義的」だが、夏純子らのエネルギーが、補てあまい。ある。「女子学園」シリーズをようやく一本見ることができた。明け方、歌舞伎町日活で「喝呼！花の応援団」。男涙の親衛隊」よ。花もまあ、一ひだけば力ばかしく喜劇をやつたと思つ程。退屈しなかった。セミリを演る役者が、ほんとうにワーナーカットで樹から地べにへ落ちるのに驚き。野球狂の詩」駄作。原作者。水鳥新司には気の毒な駄作。千の習性と本能。巢を作らないバチ蜂。ハニタ。社会性。力ありばなし。その本能行動のみことさを記録し16.00。「昆虫記の世界」：力千。五月三日（無）NHK教育TV 15:00

大映画。東映教育映画。

五月十二日(木)小田原中央劇場。「ピンクババ」「サーサー」「キャリー」。「ピンクババ」「サーサー」「キャリー」は、アーメが最も適切。「ショースター」のパロディーとは名案。^秀「キャリー」面白ハーフ。スマイルの表情が豊かだ

的。ただ血をかぶったキャリーが
学生たちを見ると嘲笑している
ように見えるというシーンは説
明的すぎた。それまでキャリー
の視点から世界を見るショッ
トはなかつたのだから、このショ
ットだけ浮きあがつてしまい、
興をそひだ。あくまでも第三者
の視点で通つてよかつたのに、
と思う。

年度末から年度始め公私多忙で、TVもほとんど見れなかつたし、また、面白そうな番組があるよという情報も、自分でTVガイドをめくるやうとりはなかつたので、全然えられず、何か惜しいことをしたような気がしてならない。もちろんTVだけが生活だなんてバカなことはないのと、不幸だったりけではない。一応「生物」を教えているのと、人間も動物の一員である以上、面白いくとは尽きないのだ。講座ものがいろいろ



977-5-1

記録映画作家ルーシュ氏の著述

「日本のテレビ人は精力を
詠録映画作家ルーシュ田の
集音マク」

記録映画作家として世界的に知られるフランスのジャン・ルーシュ氏が、このほど来日、日本のテレビ製作者たちとドキュメンタリーについて意見を交換した。

今回は、日本映像記録センター（牛山純一代表）の特別研修会の講師として招かれた。こんな経歴もあってか、同

人々の間で、映像人類学の提唱者でもある。

洋の小さな島で何が起こっているかを放送することは、アメリカのニクソンのテレビ演説を放送することと同様に重要なことだから」

そして「こんな民族フィルムを毎週シリーズでテレビ

「ピ
ン
パン
一ズ
リー」
う出版されていゝ。岩波の「大字」は、期待外れ。
「日本語」の方がましかもしない。『現代生物学』
は一般の人は読みこなせない程難解。かといって
小中高生向きの「ちくま少年図書館」『岩波科学
の本』の方が親切で記述も秀れていく。雄山
閣「人類学講座」『靈長類』はよく出来ていい。

TV

感じたまま
◆ある勇氣ある
記録◆

池田プロユーロサードに私の内な
れど、セオデ言なれる
た。トレバの、
度す言かなう。リリイえくた
あ消ぎ葉がいでだりまます
る化なを言。も・出う・えかがナル
かさいたつどなこすかとにあり
れ。だたこいとか・し私に
たそつよか、だの必がの・言葉
言れなうです・ど要持たハツ
葉もぎな讀べあち以てめの見事
な私合、んてあら上なの見事でし
らのわーだ私でかにくくべて、なま
ま中せ度よのもであラベ黙一まつ
だまで使う言なうベ黙一まつ
良いいわな葉いはるべ黙一まつ
いいよられ、で・。ラツ言つのはルにけ

私は常に言い訳ばかりを繰り返すようだ。で、今、言い訳の言いい訳をしなければならなくなつてしまつた。原稿を頼まれた時、即ちい。座に断られるべきだったかも(れ)い。もう何も書けないと。だが、YOTAPDに絶対書かざしといふ言われると、日頃何かとお世話になつてゐて、義理があつた。世話を

な人間で、常に人の眼を気にしながら生きてきた。でも私の最も愛するものは、女優では藤純子さま、映画では東映着流しやクザ映画本屋の王子さま、漫画の主人公ではピナッツの千ヤリ！ 二三事実、番組名は忘れてしまったが、昭和三十四・五年頃だから、TV人間だと答えよう。地へ？ から熱心に聞いていた。コラッソは手放しても、当然かもしない。かくして、これから当時の娛樂はラッソしかなくなりつつある。故小柳徹が犬の声だった。コラッソは進出してきたから、当然かしら。當時の娛樂はラッソしかなくなりつつある。

頭から湯気をたてていなは階段うへかぶとそなうなる。これは力イダンレです。ソーヴ。一 般に幼児向けといふよ。これらは観ていい時はそれほどでないが、今は思ひ出してみると実にこっけいだへふと、こんな文を書くよりも、ワくと座談会をしたくなりも。きっともつといふことが思い出されて樂しい。

やし方、1時の丁そ教ラたののせ三と正り人子でもま快軒画の
なたがのの代だレドれえマそ生はた大ぼぎス物等のではのなる殺者、
かも良N12劇そ、ラが尊はれ³⁸。柴英ほ原陣^{昭和}の侍期的^{10月10日}
つ、いHチのうママ嫌く實に^{10月10日}自点キけ派ト設のラ^{10月10日}組系
たあかKヤNだんのさかに比^{10月10日}方由でヤ派の定ラ^{10月10日}番組^{10月10日}
しんなだンEけガ丁にの國べ^{10月10日}も人あラの橋桔梗面夕郎^{10月10日}力と刀^{10月10日}
まじ。うねTとのB觀よ民る^{10月10日}ひとあるク桜白一^{10月10日}とあるこ^{10月10日}は
まり。うル、FSなう立N^{10月10日}ううし十進え味が頗だと^{10月10日}は
ITまへドぞジ、いは立N^{10月10日}ひ二かを郎へ助が書本^{10月10日}は
てレあ特コキれとス人作場H^{10月10日}うだ浪度長藤平^{10月10日}とも一^{10月10日}加へ^{10月10日}あい滋^{10月10日}たいなつたTレ^{10月10日}
メを、番ンエに昔ボがりでK^{10月10日}とか人に門剛幹^{10月10日}とい^{10月10日}に美らる例^{10月10日}
モ觀いのピメ加は、大方視の^{10月10日}をすフユンえ言ツ勢で聴大^{10月10日}から^{10月10日}と登勇^{10月10日}ニ^{10月10日}た大男劍^{10月10日}音の代^{10月10日}
をるすずフユンえ言ツ勢で聴大^{10月10日}と方れシタてつりある者河^{10月10日}から^{10月10日}と登勇^{10月10日}ニ^{10月10日}た大男劍^{10月10日}音の代^{10月10日}
つじにのタリ・たN^{10月10日}。あるをド^{10月10日}から^{10月10日}と登勇^{10月10日}ニ^{10月10日}た大男劍^{10月10日}音の代^{10月10日}

藤佐と想長若”とるあいい思作丘ういぐり、”全周らたがな^{10月10日}ここて
純久うとにい俳い入るのらうはル^{10月10日}うわ^{10月10日}軽花く五がか丁^{10月10日}とシ^{10月10日}とた
子間だきなこ優うのけでしのな子K^{10月10日}りH^{10月10日}かゆ^{10月10日}は坂コ登賞郎^{10月10日}らレ^{10月10日}がオノギ^{10月10日}よく賞
良かれろと以方れはさだる子K^{10月10日}。ま子^{10月10日}。てとはい^{10月10日}上がどなががた^{10月10日}に「竜馬^{10月10日}」^{10月10日}は一本富^{10月10日}にあり^{10月10日}山進^{10月10日}出^{10月10日}、士は丁レ^{10月10日}いて度^{10月10日}ひいから^{10月10日}
等浅い若年うに好私いな女^{10月10日}に「竜馬^{10月10日}」^{10月10日}はエッ^{10月10日}歌^{10月10日}ではない^{10月10日}を^{10月10日}演葉富^{10月10日}、士は丁レ^{10月10日}いて度^{10月10日}ひいから^{10月10日}
そ丘る々よ仕必^{10月10日}はかく優觀^{10月10日}。のそル”^{10月10日}しり事要^{10月10日}だか。てにてててく^{10月10日}はエッ^{10月10日}歌^{10月10日}ではない^{10月10日}を^{10月10日}演葉富^{10月10日}、士は丁レ^{10月10日}いて度^{10月10日}ひいから^{10月10日}
倒^{10月10日}りへく老はな。わもはははいいゆ^{10月10日}にて子故^{10月10日}なけ男^{10月10日}こいち大^{10月10日}とたてく^{10月10日}はエッ^{10月10日}歌^{10月10日}ではない^{10月10日}を^{10月10日}演葉富^{10月10日}、士は丁レ^{10月10日}いて度^{10月10日}ひいから^{10月10日}
もも、南るて女^{10月10日}とれうろ物^{10月10日}こ。一^{10月10日}連以來^{10月10日}はエッ^{10月10日}歌^{10月10日}ではない^{10月10日}を^{10月10日}演葉富^{10月10日}、士は丁レ^{10月10日}いて度^{10月10日}ひいから^{10月10日}
れち若部こみをたはしんにかつつ^{10月10日}の連來^{10月10日}はエッ^{10月10日}歌^{10月10日}ではない^{10月10日}を^{10月10日}演葉富^{10月10日}、士は丁レ^{10月10日}いて度^{10月10日}ひいから^{10月10日}
す^{10月10日}尾僕^{10月10日}とえとと美^{10月10日}さ倒^{10月10日}なにくづ出^{10月10日}、^{10月10日}はエッ^{10月10日}歌^{10月10日}ではない^{10月10日}を^{10月10日}演葉富^{10月10日}、士は丁レ^{10月10日}いて度^{10月10日}ひいから^{10月10日}
ん文^{10月10日}一^{10月10日}が、わ思^{10月10日}しの外れかづ出^{10月10日}、^{10月10日}はエッ^{10月10日}歌^{10月10日}ではない^{10月10日}を^{10月10日}演葉富^{10月10日}、士は丁レ^{10月10日}いて度^{10月10日}ひいから^{10月10日}
子郎理年^{10月10日}すう。いあもなわく演葉^{10月10日}、^{10月10日}はエッ^{10月10日}歌^{10月10日}ではない^{10月10日}を^{10月10日}演葉富^{10月10日}、士は丁レ^{10月10日}いて度^{10月10日}ひいから^{10月10日}
かの^{10月10日}あ。のが、本介^{10月10日}たり^{10月10日}あ。

にナモだてテニ将もい出の大^{10月10日}アソ^{10月10日}で線や^{10月10日}にと^{10月10日}銃^{10月10日}を^{10月10日}外^{10月10日}
改ニ、1。もイ度^{10月10日}ら。演は作りテ^{10月10日}今^{10月10日}なり^{10月10日}セカミ^{10月10日}ラミ^{10月10日}レ^{10月10日}
名サク^{10月10日}外^{10月10日}し^{10月10日}昔者^{10月10日}戰^{10月10日}とレ^{10月10日}も^{10月10日}アソ^{10月10日}有^{10月10日}る。ら^{10月10日}今^{10月10日}なり^{10月10日}セカミ^{10月10日}ラミ^{10月10日}レ^{10月10日}
レ^{10月10日}名国^{10月10日}も^{10月10日}カル^{10月10日}なは^{10月10日}も^{10月10日}事^{10月10日}レ^{10月10日}評^{10月10日}コ^{10月10日}も^{10月10日}アソ^{10月10日}有^{10月10日}る。ら^{10月10日}今^{10月10日}なり^{10月10日}セカミ^{10月10日}ラミ^{10月10日}レ^{10月10日}
^{10月10日}ヘ^{10月10日}犬^{10月10日}フ^{10月10日}同觀^{10月10日}かド^{10月10日}製^{10月10日}件^{10月10日}よ^{10月10日}判^{10月10日}が矢^{10月10日}、^{10月10日}ダ^{10月10日}前^{10月10日}レ^{10月10日}觀^{10月10日}て^{10月10日}い^{10月10日}た。ロ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}ド^{10月10日}ン^{10月10日}レ^{10月10日}
走^{10月10日}ラ^{10月10日}ラ^{10月10日}様^{10月10日}シ^{10月10日}タ^{10月10日}作^{10月10日}を^{10月10日}り^{10月10日}に^{10月10日}ソ^{10月10日}島^{10月10日}〇^{10月10日}て^{10月10日}シ^{10月10日}前^{10月10日}レ^{10月10日}觀^{10月10日}て^{10月10日}い^{10月10日}た。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10日}かデ^{10月10日}の^{10月10日}で^{10月10日}日本語^{10月10日}、^{10月10日}犬^{10月10日}リ^{10月10日}ン^{10月10日}チ^{10月10日}ニ^{10月10日}ー^{10月10日}よ^{10月10日}る。^{10月10日}ハ^{10月10日}正^{10月10日}の^{10月10}

ていたものであつた。一度しか使われなかつた写真である。次が同じく三時あなたしで、荒木虐美との対話である。まるで視聴者がコロンボ刑事になつたような錯覚をおこさせたと思う。ナマの迫力とは文字通りこのことであつた。

之年以上も前にあづかつた原稿を、ようやく公表できてホッとして

(留用5年 2月 20日)

丁巳·乙卯

どうか、アルバート・ハモンドの「カリオルニアの青い空」をBGMに使っていただきたい。

かやり切れぬ。バカな女にはどこ
か愛嬌があるものだが。妹の話だと女子高校生の間で不
人気No.1は桜田淳子だ。さうで、いやはなことを人にたのむ時は「淳
子のお願い！」と云うのだと云う。

S 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47

子供向け外国TV

- | | |
|--------------|----------------|
| スポーツ・劇場中継に人気 | 国産第2号「月光仮面」に人気 |
| ・私の秘密 | ・ティーズー ランド |
| ・日暮名氏とび出す | ・ポッパイ |
| ・何でもやります | ・スーパー・マン |
| ・シェスチャー | ・名犬リンチンチン |

子供たちに 国産アニメ 受ける。

- ・鉄腕アトム・鉄人28号・オバQ、おと松くん・ウルトラQ・ウルトラマン・巨人の星、タイガーマスク・仮面ライダー
宇宙科学もの ホームドラマもの 特撮怪獣もの スポ根もの

朝の時間帯ニュースショー 普段のワイドショー 花盛り

- ・木島則夫、スタジオ102・アフタヌーンロー、11PM、23時ショー
小川宏シヨー 3時のあなた

料理番組

まごの料理・アベック料理コンテスト etc

主婦文庫

日々の背信、ヨロメキもの

時代劇ブーム

- ・花の生理、三匹の侍
忍びの者、隠密剣士
 - ・鎌形平次
 - ・用心棒シリーズ
大奥もの
恋せよ花かわいおれ
 - 男は瘦胸・天下御免
大団越前

上方コメディ・ブーム

とんま天狗, 番頭はんと
丁稚どん

西都劇ブーム

・ローハイド、ララミー牧場

国産の検査ものに人気

- ・七人の刑事、ダイヤル110番 ガードマン、キーハンター、ブレイガーレ

外国の検査ものに人気

- ・サンセントラル、アンタリヤブル
ペリー-メースン

- ・私は見になりたい
- ・バス通り裏

視聴者参加の

- ・アベック撮合戦
 - ・そくりシヨー
 - ・アップアダインクイズ
 - ・NHK朝のTV小説
 - ・劇場用映画放映
 - (二人気(「うき草」が))
 - ・歌謡曲ヒット曲組に
 - ・東京オリンピック
 - 人気

ホーリードラマの変質

1 気後銀後 陛下が大人、時間です、ありがとうございます

・NHK開局 (28.2) ・TBS開局 (30.4)

○皇太子御成婚
(弘4.10)

NTV 中国
(28.8)

バラエティ・ショーに人気

- ・8時^半に全員集合
ド^ラマ^ハウ^ス90分
裏番組をぶっ飛び化
 - ワ^イド^ス
ペニ^ャルモ^の

エミー賞にNTV制作番組

サリドマイド児の13年間

テレビのアカデミー賞、日本で初

サリドマイド児が生まれてから映画のアカデミー賞に相当。日本

は明日を圖つ

んの四七四五

では一現代の

れたのではない

後も続けていき

再放送される。

三七七年七

卷之三

か
や

より
、
。に

二三

卷之四

卒業五文

27

のた
官

不可也

四
二

ん
た。
何

四
卷之三

今も持

卷之三

七八



第16中に元気に入学した賣くん(番組の一コマから)

上陽水作詞作曲歌の「青空ひとりきり」
樂いことなら何でもやりたい
笑える場所ならどこへでも行く
悲しい人とは会いたくもない
涙の言葉でぬれたくはない
青空 あの日の青空 ひとりきり
だからよくわからぬあせりを感じながら、自
分がふるいたせようとする陽水の歌は、自
分の感情をぶつけてくる。他人を楽しくさせ
う感じがいい。てめえなんて死んでまえ！
といふやうな氣をしてくる。オグラ
ういふやうな歌の様な抒情は、どうしても好き
たまらぬ。歌詞が曲にキレイにのつた
やなのだった。

古語たが世はり今の一
ユーシックより私はタクローや岡林
信康の歌が近しい。タクローも最近は
知らながマークⅡ「人間なんぞ」
イanjeの詩「青春の詩」など。「女子
学園やべい卒業曲を見てあらためて
う思つた。(タクロー「青春の詩」で出演)
その後も「春だったんだね」とか、いい歌
もある。「旅の宿」なんかは穴談だと
思えば可も不可もない。彼らにあつた
てめぐら何やつてんた。俺もりつた
い何やつてんた。何とかしようぜ。何
とかなりまならしといふ。一種の思
あがりを今も持つてゐるのは、陽
水たけたるつか。お客様は神様
です。なんて当り前のことで、客に向
つこじげない。まことに欲しくない。

ゴールデン街・都電跡

池田雅夫

“立入禁止 東京都”

森崎東の“女”シリーズの舞台となつた、ゴールデン街裏の都電跡を訪れた時に、最初に目についたのが、こんな立札だつた。

誰も居なかつた。真昼なのに妙に暗かつた。映画で、子供達が遊びまわり、洗面器を下げた女達が行き来したような風景とはかけ離れ、跡地としての分をわきまえてゐるかのように、ひっそりとしていた。不意をつかれた思いがしてしばらく眺めていた。足を踏み入れる事がためらわれた。

花園神社の裏を通て明治通りに出た時、自動車の騒音は少しも気にならないのに、太陽がやけにまぶしかった事を憶えてゐる。三年前の夏だつた。

都電跡は今はない。舗装され、木が植えられ、コフバーズ・レーン凸という名もついている。整備された公園の一部を切り取つたような路になつてゐる。

都電跡を取り巻く一帯は、飲み屋、バー、ピックサロン等が集まつており、遅く行けば、街娼、おかも、キックガールが、せつせと客を引いてゐる。そんな所の真中に、少女趣味な名前のついた路があるのは奇妙だが、街燈が一本もない所

が、やはり新宿裏通りの仇花か、と思わせられる。しかし、数年後、「健康で文化的な環境」というスローガンの下に、ゴールデン街もとり払われ、この一帯が健康的に整備されれば、この路も名前通りの顔を持つかもしない。

（昭和五十一年四月）

く等と思つるのは映画ファンのエゴでしかないと思つが、やはり淋しい。

池田雅夫は私の弟。大学五年生で、東京は渋谷、中野と住み、今は横浜。英語の研修と称して、毎下ワシントンへ行つてゐる。実際のところはジャズを聞きにいったのだろう。渡米資金を作るために、公害研で数ヶ月アルバイトをしたりで、学校へ行く時間などなかつたろう。社会学だから、社会から学べばよいのだそうである。

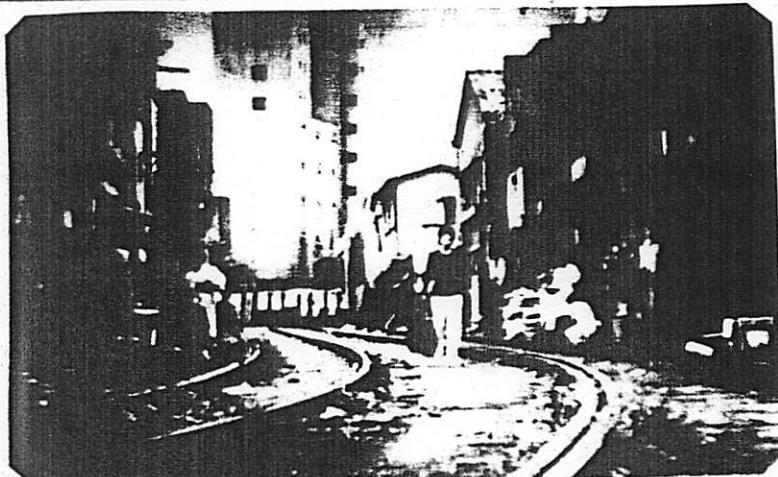
当分、学生でいるつもりらしい。手紙から「秋みたい穴談で來てるのはいいようです。」と云ふ。学生は一人だけ。軍人、工学、南米当りは、国費で來てゐるのが多い。今回のツアーは、学生は一人だけ。軍人、工業院進学の為の人等と、大コノミスト、大学院進学の為の人等としたもんです。」

* * *

都電跡のあるゴールデン街裏は、森崎東の

“生きます”シリーズ（私は、こうよぶことにしてゐる）の中心、新宿芸能劇場のあるところで、シリーズ第三作「喜劇・女売り出します」で西村晃のうしろ姿が、風景によく合ひ、さびしかつた。

（ここは、田中登監督「真夜中の妖精」（日活）でも、精薄の少女カナリヤ（山村ゆり）にやさしいゲイや街娼たちのいるところとしてどうえられた。「裏町人生」という「どば



ゴールデン街裏・都電跡「生きます」より——中央は左幸子——

下品でなく上品でなくきわどく…



—五月みどり—

あひの役
1976.8.20
読売新聞

今夏上演中のフジ系「欲望の西」(月曜・金曜後1・30)で、バーバーのホステスから海運会員の老社長の後妻となつた主人をかぶこな夫につかえながらや、その美しさから、夫の長男つまりは「不倫」の仲となり、そぞろに心地よい。これをきみじめに上るのが私の仕事

「欲望の西」で森崎東は演出した。原作は金子成人・宮川一郎脚本、森崎東、木村正芳・高橋勝監督、五月みどり、内田朝雄主演(この項、和田矩衛の評は「3ヶ月の3本をみてるが、森崎の河」76・7・8(杉山義法・森千尋)



座のある家庭生活を夢見る女とい

う役柄だ(ストーリーは137頁参照)。

五月が好演といふ

より、「地」でやつて

いると思えるほどビ

ッタリはまり、生き

とくれば、さぞか

しお色氣ムンムンと

想像しがちだが、ド

ッコイ、迫力ある画

面の展開の中では、息ぬき程度の

感じなのである。

脚本(杉山義法)もさることな

がら、監督(森崎東)は映画育ち

だけに、一つ一つをていねいに撮

り上げている。女の部屋から博多

さらに、物語とはさして関係のない脇役——例え

ば、日下部海運の九州支店長——の彼女に

目への演技にまでぬかりがないのはうれしい。

難をいえば、中

秋子(内田朝雄)と彼女に

心舞台となる日下

ヒロインの秋日(和田矩衛)はひかれ部家人間関係。

少々複雑で、はつきり分かるのは二

週目に入つてからか。

制作は、屋メロの老舗・東海テ

レビ。のれん健在というところだ。

「ときめきの午後」をという局の宣伝文句にのせられても、ソーンはない作品である。

は出色であった。内田朝雄も

久しぶりの主役で、一代で成り上った事業家の強引な人間像を作りあげていた。ユーダン・オ

ニールの「榆の木陰の欲望」をヒントにしたという。脚本家・

監督があまりに多數すぎる

試写室

退屈な午後のひとときには心配である。

7月12日～8月20日放映。

個人でできる範囲で個人的にやっていきます。ようしく。(池田博明)

河内花乃

レポート

退屈な午後のひとときには心配である。

7月12日～8月20日放映。

河内花乃